（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	清水　一成	所　属	法務研究科	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.40	法科大学院の担当科目である「刑法」については、うわべの知識ではなく今後の刑事法学習の基盤となる理論的知見を修得させたい。「演習科目」では討論の楽しさを教え、自ら問題を発見し解決する力とともに文章力を養わせたい。学部科目の「法学演習」にあっては、法学専攻出身者にふさわしい幅広い刑事法の知識を修得させたい。	0.00	ここ数年、学生による授業評価アンケートで評価が伸びないのは、授業時間の使い方や小テストのあり方に問題がありそうだと認識し、その改善に努めるようにした。そのため、予習指示や授業内容を見直す作業にかなり労力を割いた。まだまだ改善の途中であるが、ある程度は方向性がつかめたと思う。
研究	0.25	指導教授の古稀記念論文集に小論を掲載する予定である。テーマは未定であるが、理念的抽象的な問題ではなく、法科大学院の日常の授業で感じる「理論と実務の架橋」を意識して、実務において解決が求められているような具体的な問題を取り上げ、一定の解決を示すようなものを書きたいと考えている。	0.00	あまり時間が取れず、進捗状況は計画よりかなり遅れてしまっている。ただこれとは別に、隣接する分野である刑事訴訟法や刑事政策に関する文献に接して、広い意味の刑事法学への関心が出てきたことは今後役立つことと思われた。
社会貢献	0.05	独立行政法人国立病院機構琉球病院医療観察法病棟の外部評価会議委員として医療観察法による触法精神障害者の処遇が適切かどうかを検討する。司法精神医学研究会（座長：仲本晴男沖縄県立総合精神保健福祉センター所長）の理事をしており、医療・司法実務・研究者間の情報交換に寄与したい。	0.00	琉球病院医療観察法病棟外部評価会議は6月と11月に2回開催されたので、これに出席し適宜意見を述べた。司法精神医学研究会は隔月で年6回開催されたが、相変わらず他の所用と重なることが多く、2回の出席にとどまってしまった。
管理運営	0.25	法務研究科における入試委員長として、本年度の入学試験を瑕疵なく実行し、できるだけ応募者を増やし、ひいては優秀な入学生を一人でも多く獲得するよう務める。また、今後のよりよい入試体制を模索してゆきたい。刑事法領域の主任教授としてカリキュラムの改善を図り、学生の学習効率を高めたい。その際には学部との連続・連携も視野に入れたい。	0.00	入試に関しては様々な工夫をし、同僚教職員の協力のもと、ほぼ昨年並みの合格者・入試倍率を確保できた。しかし年々厳しくなってきているのは事実で、来年はより一層の努力が求められよう。刑事法領域の教員スタッフは全員有能で、かつ協力的だったので、領域主任として非常に助けられた。刑事法脅威についてさまざまな改善案も出されており、今後につなげたい。
進路指導	0.05	講義、演習およびオフィスアワーの時間を通じて、法科大学院の学生に対しては主として学習方法等のアドバイスを行い、学部ゼミの学生に対しては適宜就職活動を支援する。指導学生やゼミの学生には順次個人面談を予定している。ゼミの時間を利用して、実社会で活躍する卒業生をゲストとして招き職場の紹介などをしてもらうなどの計画を実行したい。	0.00	指導学生に対して面談を行うにあたり、その学生が受講した他の教員から所見を聞いて面談資料としたのは、本人のためにも大変よかったと思う。恒例の反省点であるが、オフィスアワーの活用率が悪いので、この点は改善策を講じたい。学部のゼミは今期で終了したので、そのパワーをロー生に振り向けたい。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	0.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）						
名　前	高良鉄美		所　属	法務研究科	職　名	教授
領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果		
教育	0.30	・より多くの司法試験合格者を輩出できるよう、担当科目の教育目標達成に力を入れる。 ・研究業績に応じたトピックを授業にとり入れ、関心を深めさせる。 ・学生の授業評価等を分析し、授業の改善を行う ・学習相談について、オフィスアワー以外でも対応し、相談を促す。 ・アカデミックアドバイザーとの協働を図る。	0.30	・教育目標達成に力を入れたが、授業評価そのものは低かったので、しっかりがんばって行きたい。 ・研究業績に応じ、期末試験で司法試験の論述問題に出る形式の問題を作成した。 ・授業改善に努めたが、授業評価が低かったのは努力が足りなかった面もあったかもしれない。 ・オフィスアワー以外でも対応してきたが、もっと相談しやすいようにしなければならないと感じた。 ・アカデミックアドバイザーとの調整を学生中心にしたので、協働がうまくはかれなかった面があった。	
研究	0.30	・学会誌や紀要等に2本の論文を発表する。 ・九州法学会理事として来年の沖縄開催九州法学会成功の準備をする。　・科研の研究成果を発表する。	0.30	・2012年4月と2013年1月に、単行本と雑誌に論文を発表した。 ・理事会に出席し、着々と学会の準備を進めている。 ・科研の研究成果発表の準備を進め、来年度にはまとめる予定である。		
社会貢献	0.20	・新沖縄県史編集委員会委員として積極的な意見を言う。 ・沖縄県議会史の担当執筆を行う。 ・那覇地方裁判所委員会委員として法曹教育担当者の意見を反映する。　・沖縄県憲法普及協議会会長として憲法の社会普及に努める。 ・大学人九条の会沖縄代表として各種シンポジウム等を開催する。	0.20	・県史編集委員会では積極的に意見を述べた。 ・県議会史の執筆は思うように進んでいないがしっかり完成させたい。 ・裁判所委員会ではしっかりと意見を述べることができた。 憲法講演会をきちんと開催することができた。 ・新聞等にも適度な露出があったがもっとがんばらなければならない。 大学人九条の会として、共催で講演会を行った。	
管理運営	0.10	・国際沖縄研究所兼任教員として、法律分野の研究反映させる。 ・広報委員会委員として広報を促進する。 ・国際交流委員として、ハワイ大学との交流を促進する。	0.10	・国際沖縄研究所への活動協力はあまりできなかった。次年度は積極的にかかわりたい。 ・広報委員会は活発であったが、委員としてさらに発信をしたい。 ・国際交流委員としての活動はうまくできたと思う。さらに発展させたい。		
進路指導	0.10	・専門職大学院として、司法試験合格のための指導をする。 ・法曹以外の職を希望する学生に法曹教育を生かした就職支援を行う	0.10			
	0.00		0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。		

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	玉城　勲	所　属	法務研究科	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.40	授業の内容や方法は昨年と同様であるが、授業の質を向上させたい。	0.40	目標通り行うことができた。
研究	0.40	今年は研究の時間が取れそうなので、論文を2本、書きたい。	0.40	論文は1本であるが、分量のあるものなので、実質的には目標を達成できたと考えている。
社会貢献	0.00		0.00	
管理運営	0.20	学内では交通問題専門部会の委員を勤める。駐車場問題についてアンケート調査を実施することになっており、その結果を分析、整理する。研究科内では「監査」を担当する。	0.20	目標通り行うことができた。
進路指導	0.00		0.00	
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	比嘉　　正	所　属	法務研究科	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	今年度は、学生と一緒に粟国島で無料法律相談を行う予定である。	0.20	粟国島での無料法律相談を実施した。
研究	0.20	今年度は、昨年に引き続き、「暴利行為論の再構成」というテーマの論文作成作業を行う予定である。	0.20	「暴利行為論の再構成」の一環として「敷引特約の公序良俗違反性」という論文を執筆中である。
社会貢献	0.20	今年度は、法科大学院の地域貢献の一環として、粟国島において無料法律相談を学生と一緒に行う予定である。また、家庭裁判所運営委員、法務局評価委員、弁護士会資格審査委員として各委員会に出席する予定である。	0.20	粟国島での無料法律相談を実施した。また、家庭裁判所運営委員、法務局評価委員として委員会に出席した。
管理運営	0.20	運営委員会委員として、研究科委員会の事前打ち合わせや資料作成に携わっている。	0.20	運営委員会委員として、研究か委員会の事前打ち合わせや資料作成に携わった。
進路指導	0.20	今年度は、特に卒業生の進路相談や就職相談に力点を置いて指導し	0.20	卒業生の進路動向調査や就職活動に携わるために、卒業生と直に懇談し、その支援のためのジュリナビ主催の会議に出席した。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（1枚目）

名　前	久保田光昭	所　属	大学院法務研究科	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.25	「商行為法・手形法小切手法」、「商法演習」および「保険法」を本年度も引き続き担当するので、法科大学院における理論教育はいかにあるべきかを考えながら、よりよい授業の実践を目指す（到達目標の明確化と授業前後の履修指導の充実が重要である）。「法情報調査」および「中小企業法務」を共同担当する。なお、法文学部「商取引法」、人文社会科学研究科博士前期課程「商法特論Ⅱ」も担当する。	0.35	「商行為法・手形法小切手法」、「商法演習」および「保険法」について、昨年度までの経験を踏まえ授業内容を改善したが、授業前後の学修指導に課題が残っている（とくに「商法演習」で、答案指導をどの程度行うべきか検討しなければならない）。「法情報調査」については、未修者に対する導入教育の重要性を認識し、さらなる充実を図る必要がある。なお、法文学部の「商取引法」については、学部生に分かりやすい授業の実践を目指した。
研究	0.35	『逐条解説会社法第7巻』（中央経済社）における担当条文（第637条～第675条）の注釈原稿を早急に完成させる。信用生命保険に関する研究論文を『生命保険論集』（生命保険文化センター）に掲載する。そのほか、研究会報告を少なくとも2回行い、その成果を公表する。	0.20	保険判例等研究会（東京）における研究報告の成果を2つの論稿として公表したにとどまった。『逐条解説会社法第7巻』（中央経済社）の注釈原稿もいまだ完成していない（本年度末までには脱稿したい）。忸怩たる思いである。研究者の本務として、研究活動の活性化に努めていかなければならない。
社会貢献	0.10	沖縄弁護士会懲戒委員会委員を真摯に務める。名桜大学国際学群において夏期休暇期間中に集中講義を実施する（「会社法」担当）。東京大学商法研究会、九州大学産業法研究会、保険判例等研究会（東京）および金融取引法研究会（福岡）に積極的に参加する（研究会報告の実施につき研究欄参照）。	0.10	沖縄弁護士会懲戒委員会委員として8回の会議に出席したほか、名桜大学国際学群に非常勤講師として出講した程度であり、社会貢献活動はわずかである。各種の研究会にも年度当初の予定どおりには参加することができなかった（参加回数は4回。保険判例等研究会における研究報告につき研究欄参照）。
管理運営	0.25	副研究科長として研究科長を全面的に補佐するとともに、教務・学生委員会委員長として法科大学院教育が日々円滑に実施されるよう努める。運営委員会委員として法科大学院の今後の在り方について積極的に発言する。全学的には、大学院委員会委員、利益相反マネジメント委員会委員等を務める。人文社会科学研究科博士後期課程への新専攻設置に協力する。	0.30	教務・学生委員会委員長として、教務・学生関係の日常的な諸問題を迅速かつ適切に処理し、また副研究科長・運営委員会委員として、法科大学院全体の課題にも積極的に対応した。法科大学院の管理運営面で重要な役割を果たしたものと思われる。全学的には、各種委員会の委員（大学院委員会委員、年度計画策定委員会委員、利益相反マネジメント委員会委員等）を真摯に務めた。
進路指導	0.05	法科大学院3年次（留年生）の指導教員として、また教務・学生委員会委員長として、学生の履修指導にあたるとともに、各種の相談に丁寧に対応する。	0.05	指導教員として、また教務・学生委員会委員長として、学生の履修指導に積極的にあたるとともに、学生生活や進路等の相談には丁寧に対応した。もっとも、学生からのアプローチは必ずしも多くなく、学生指導の在り方は今後の検討課題である。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	藤田広美	所　属	法務研究科	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	「民事訴訟法Ⅰ」の指定教科書「講義 民事訴訟第2版」(2011年・東京大学出版会)を更にup to dateし，本年度後期開講の前記科目の授業内容の見直しと充実を図る。	0.35	目標設定にある改訂原稿の執筆を終え，判例・学説のup to dateを図った。４月ころ刊行予定であり，目標どおりに実行した。
研究	0.30	法曹養成プロセスにおける民事訴訟法教育のあり方についての研究を継続し，「民事訴訟法Ⅱ」の教科書として指定している「解析 民事訴訟」(2009年・東京大学出版会)の改訂原稿を執筆して，同書のup to dateを実現する。	0.35	目標設定にある改訂原稿の執筆を終え，判例・学説のup to dateを図った。上記テキストと同時刊行予定であり，目標どおりに実行した。
社会貢献	0.20	沖縄弁護士会法科大学院特別委員会委員として弁護士会と法科大学院の連携をより一層強化する。沖縄県労働委員会会長・公益委員及び那覇地方裁判所簡易裁判所判事推薦委員会委員の学外公務を全うすることによって，本学の社会貢献・知名度向上に寄与する。	0.20	学内業務に支障のない範囲にとどめつつ，沖縄弁護士会との連携のほか，簡裁判事推薦委員会委員及び沖縄県労働委員会会長としての公務遂行を適切に実施した。目標どおりの達成であると自己評価する。
管理運営	0.10	委員会(FD)活動に積極的に取り組み，教員のスキルアップ，教員と学生との信頼関係の醸成のため多様な授業改善提案を行う。授業評価アンケート，ピア・レビュー，学生との意見交換を実施する。	0.05	FD委員として提案できる改善策については，昨年までのFD活動でほぼ出尽くした感がある。目標として掲げた「多様な」改善提案には至らなかった。授業評価アンケートとこれに対する教員のコメントを開示する作業は，例年どおり，適切に行った。
進路指導	0.10	学習達成度等について適時適切なアドバイスを行い，学生の学修支	0.05	授業後のオフィスアワーやメールを利用して学修指導を実施した。しかしながら，希望する学生が少なかったこともあって，必ずしも活発ではなかったと自己評価せざるを得ない。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	渡名喜　庸安	所　属	法務研究科	職　名	研究科長

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	担当している行政法諸科目について具体的な行政紛争事例を解決していくための行政法的思考能力を養成することに力点をおいた講義を実践していきたい。具体的には、判例法理の形成・展開を理解し、一般的判断枠組みの具体的事案への適用力を養成していきたい。	0.30	担当した行政法諸科目（行政法Ⅰ・行政法Ⅱ・行政法演習）について、それぞれ授業改善に努め、年度当初に設定した目標通りに実施することができた。
研究	0.10	本年度は、「警察行政の展開途方」「日本におけるテロ対策法制」という二本の論文を執筆してきたい。	0.10	設定した二本の論文のうち、後者の論文は予定通りに執筆を終え（ペラ150枚、6月刊行予定）、後者は現在引き続き執筆中である。
社会貢献	0.05	沖縄県公益認定等審議会の会長として、月に一度（又は二度）の審議会を主催するほか、沖縄行政評価事務所行政苦情救済推進会議の委員としても貢献していきたい。県内離島に対する法的サービスの提供の可能性についても検討してみたい。	0.05	設定した目標通りに活動することができた.沖縄行政評価事務所行政苦情推進会議の会長も務めるようになった.粟国島での無料法律相談も有意義であった。
管理運営	0.40	法務研究科長として、志願者の減少傾向、司法試験合格率の低迷など厳しい状況の下で、様々な地域特性を保つ本法務研究科がこの地でなお維持・発展して九ことができるよう、競争倍率2倍の確保や授業改善などの諸課題に対応していくべく、引き続き職責を全うしていきたい。	0.40	法務研究科の先生方の大きな協力を得て、設定した研究科長とのしての役割・目標（司法試験の合格率・競争倍率2倍の確保・授業改善の取組など）をほぼ実現することができた。
進路指導	0.15	修了生の進路を系統的フォローするとともに、司法試験に合格できな	0.15	研究科長として修了生の進路状況について継続的にフォローするように努めてきた.修了生の就職紹介も行った。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	武田　昌則	所　属	法務研究科	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.55	多くの学生が自信を失っている状況を改善すべく、『学び合い』の知見等を踏まえて、担当する授業内容を充実させ、1人も見捨てない指導により教育効果を向上させる。	0.45	『学び合い』の知見をシラバスに記載し、授業アンケートの回答を通じてこれを徹底するように努めた。もっとも、自分自身が『学び合い』の精神を専門職大学院でも完全に活かすことができるかどうかの信念を抱ききれていないところがあるかもしれず、その点についての検討と実践を今後の課題としたい。
研究	0.10	最近取り組んでいる研究分野（国際的な子の連れ去り、米国刑務所調査）についての論文を執筆する。	0.10	共著ではあるが、沖縄法学に「ハーグ子の奪取条約の批准と沖縄の抱える課題」というタイトルの論文を発表できた（当職の担当部分は3「ハーグ条約に基づく子の返還の可否の審理のあり方」であるが、上記論文に引用されている法務省民事局参事官室宛の意見書も、その骨子は当職が作成してものである。）。
社会貢献	0.15	担当している臨床法学教育科目（クリニック）において実施する法律相談、及び、法テラスとの連携を通じた社会貢献を続けるとともに、粟国島無料法律相談を成功させ、離島での法律相談についての大学の貢献を強化する。さらに、学内法律事務所の設置についての調査研究を進める。	0.20	平成24年5月26日から27日にかけて、粟国村役場の協力を得て、粟国島での無料法律相談を成功させることができた。もっとも、この粟国島での法律相談を含め、無料法律相談イベント実施後のフォローアップが今後の課題である。
管理運営	0.10	学科内広報委員長として、積み残しの課題（パンフレットの作成）及びアンケート分析を踏まえたさらなる広報活動の改善努力を継続する。英米法研修（ハワイ）プログラムについては、法学専攻との共催成功を踏まえて、有望な受験者獲得の場としてもさらにこれを充実させる。	0.15	懸案であったパンフレットの作成については、その骨子を作成することができ、他の業務についても、ほぼすべて実施し、次年度の広報委員長の引き継ぐことができた。
進路指導	0.10	弁護士就職難の状況下で、合格者・不合格者を問わず、その進路を出来るだけ把握できるようなチャンネルを確保し、可能な限り新たな就職先を開拓する。	0.10	全体的な弁護士の就職難のなかで、その対応は困難を極めているが、そのなかでも、数名の修了生の就職先をあっせんすることができた。もっとも個人的な取り組みはおのずから限界があり、大学全体としてのバックアップが不可欠な分野である。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（1枚目）

名　前	宮 城　　哲	所　属	大学院法務研究科	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.50	契約法Ⅰ，Ⅱ，Ⅲは，昨年度に引き続き共通的到達目標を反映する形で教育方法・内容をグレードアップさせる。ロイヤリングは，昨年度から1単位の必修科目に変更になったが，昨年度試行錯誤したことを踏まえ，教育方法・内容をより充実させる。また，例年通り，授業以外でも院生や修了生の自主学習等の指導に力を入れたい。	0.50	契約法Ⅰ，Ⅱ，Ⅲは，昨年同様に共通的到達目標を反映した教育を行い，学生の理解や知識定着を助ける観点から授業や復習の内容・方法等において改善を図った。ロイヤリングは，昨年度の試行錯誤を踏まえて予習指示等を改善し，また，教員向けセミナーで学んだ新たな手法も導入するなどして，教育方法・内容のさらなる充実を図った。また，例年通り，授業以外でも院生や修了生の自主学習等の指導に尽力した。
研究	0.20	今年度から臨床法学教育学会の理事に就任したことから，従来から研究をすすめてきた法科大学院における臨床法学教育の方法論等につき，更に研究を進め，その成果を学会内で報告するなどして，学会の発展・充実に貢献できるようにしたい。	0.20	ロイヤリングの教育方法等について研究成果を授業に反映させつつ，現在，民事法研究会から出版予定の『法科大学院におけるローヤリング教育の理論と実践（仮）』（共著）を執筆中である。また，民法に関する研究の成果の一つとして間もなく日本評論社から出版予定の『事例研究民事法第2版』（共著）の執筆部分を大幅に改定した。
社会貢献	0.15	例年通り，沖縄県，那覇市，地方労働局及び大学評価・学位授与機構等における様々な委員としての活動や市民法律相談等を通じ，これまでの研究成果を活かした社会貢献を行う。また，日弁連等のシンポジウム等において，これまでの法科大学院に関する研究成果に基づく問題提起や政策提言等を行い，社会に貢献したい。	0.15	沖縄県，那覇市，地方労働局及び大学評価・学位授与機構等における様々な委員としての活動や市民法律相談等を通じ，社会貢献を行った。
管理運営	0.10	研究科委員会における議論に貢献する他，図書委員の業務を遂行し，その他入試の実施等に関し必要な役割を果たしたい。	0.10	図書委員として必要な事務処理を行ったほか，入試においては法律試験の民法の問題作成・採点をし，面接官も担当した。
進路指導	0.05	3年次の授業を担当しておらず，指導教員でもないので，公式には3年次の進路指導に関わる立場ではないが，例年，個別に進路相談をしてくる学生がそれなりにいるので，かかる学生に対し当該学生の立場にたった親身かつ具体的なアドバイスをしたい。	0.05	数名の学生から個別に進路相談を受けたので，必要なアドバイスを行った。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	宮　尾　　徹	所　属	法務研究科	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.60	各年次における到達目標を意識し、かつ、科目間の連携に配慮しながら教育に当たりたい。また、前年度の反省も踏まえ、学生の理解度を確かめながら授業を進めていきたい。なお、学部生に対しては、法学全般に興味を持たせられるような講義を行っていきたい	0.60	今年度から、小テストを実施するなど、学生の理解度を確認しながら授業を進めるという点の比重を上げた。それなりの成果はあり、また、学期に2回程度なので、学生の負担にもならなくて好評であった。概ね年度目標は達成できたと思われるが、教育効果を上げるために、引き続き努力していきたい
研究	0.15	裁判員裁判における評議のあり方、公判前整理のあり方について調査研究を続行したい。また、共謀メモの証拠能力を中心とした伝聞法則全般と、共犯論を中心とした刑事実体法領域についても調査研究を行いたい	0.15	主に伝聞法則について調査研究を続けており、近々、これまでの成果をまとめたい。年度内に、成果物が出来上がらない可能性があるという点で、目標達成度合いは低いと感じている
社会貢献	0.05	弁護士会の委員会活動、紛争調整委員、その他の審議会（予定1）につき、その職責を果たしていきたい	0.05	左に掲げた委員会活動につき、概ね適切に職責を果たせた。引き続き、積極的に関わっていきたい
管理運営	0.15	研究科内の所属する委員会活動に積極的に関わるとともに、必要に応じ、他の委員会活動にも協力していきたい	0.15	所属する委員会活動には、年間を通じて積極に関われた。また、関連する他の委員会活動や、全学的な委員会活動にも、ある程度関わることができたと思われる
進路指導	0.05	指導教員として、担当する学生と積極的にコミュニケーションを取りながら、適切に指導していきたい。また、学生に関する情報の共有のあり方についても模索してみたい	0.05	授業での関わりが減った分、昨年よりも、接触する機会は減ったが、要所要所では、適切に指導できた。担当学生が最終学年に進級する来年は、さらに、指導教員として適切な関わりをしていきたい
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。